

平成19年度決算の概要(2008年3月期)
中期経営計画「第二次こうぎん維新」



株式会社 高知銀行

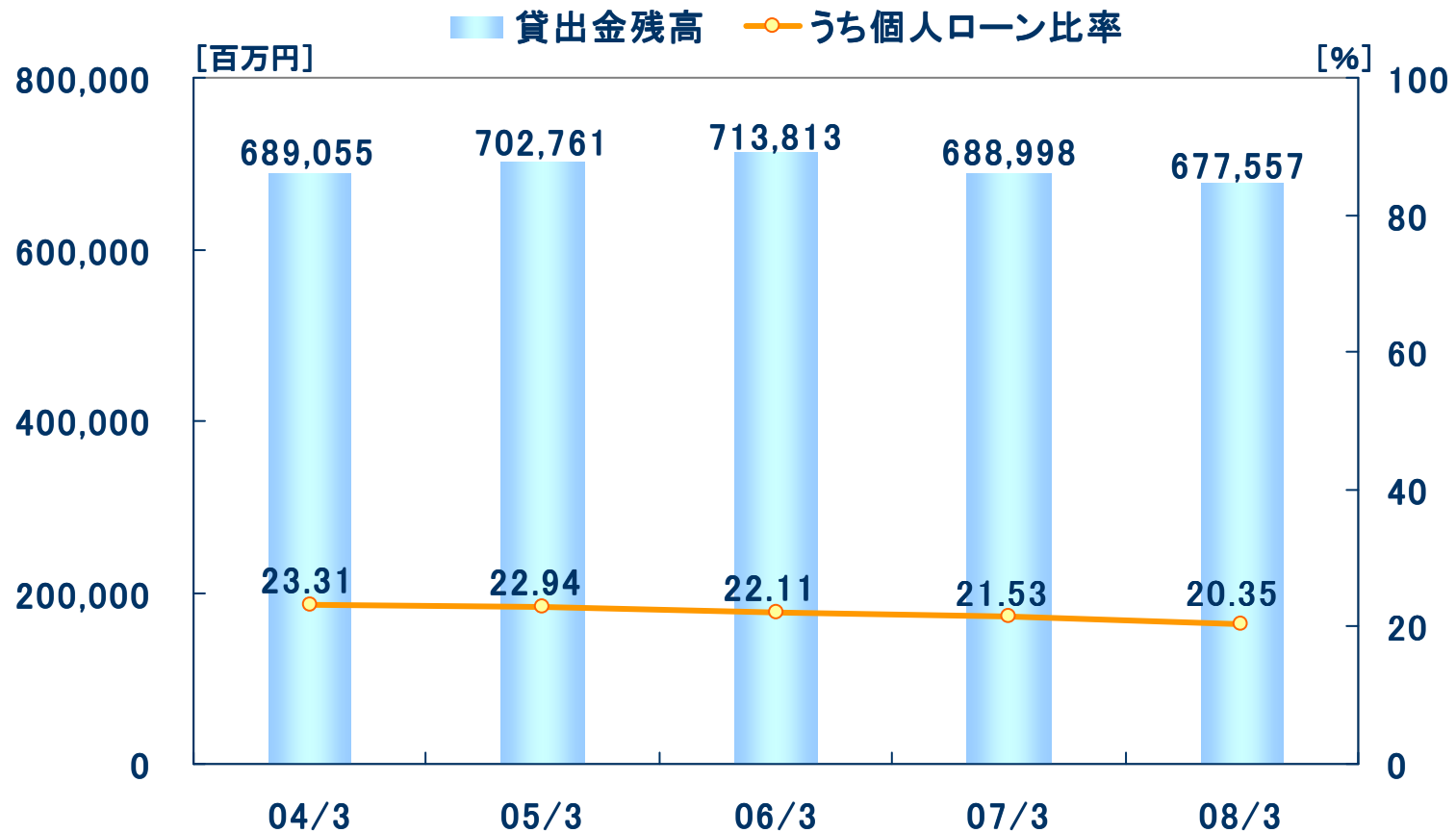
目 次

1. 貸出金	1	4. 不良債権への取組み	9
2. 預金・預り資産	3	5. 自己資本比率	10
3. 損益状況	5	6. 経営改善支援への取組み	11
①業務粗利益			
②経費			
③コア業務純益		中期経営計画	12
④利鞘			

1. 貸出金

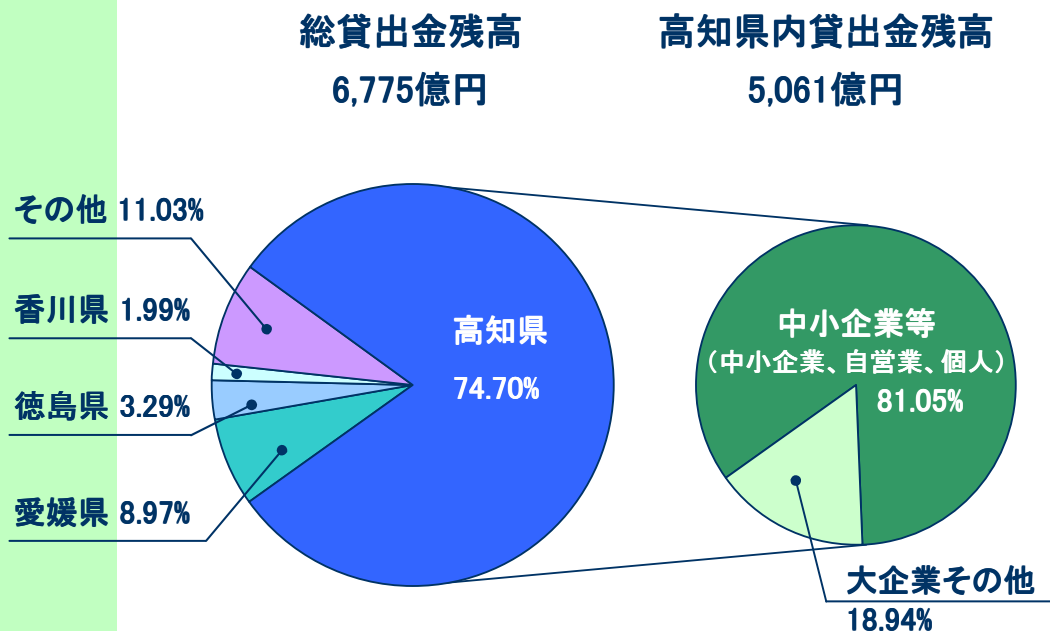
貸出金

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要にお応えするとともに、個人のお客さまのニーズにもきめ細かくお応えいたしましたが、高知県内の資金需要の弱さもあり、貸出金残高は前年同期末比114億円減少して6,775億円となりました。

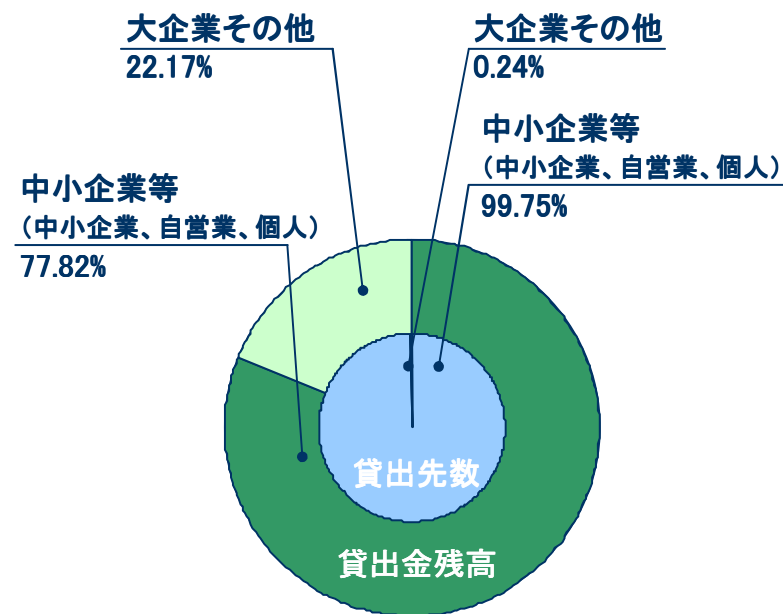


平成20年3月末の高知県内向け貸出金は5,061億円で、当行の貸出金全体の74.70%を占め、また、当行の貸出金の77.82%は中小企業や個人のお客さまへのご融資となっております。

総貸出金残高に占める地元貸出金
(2008年3月末)



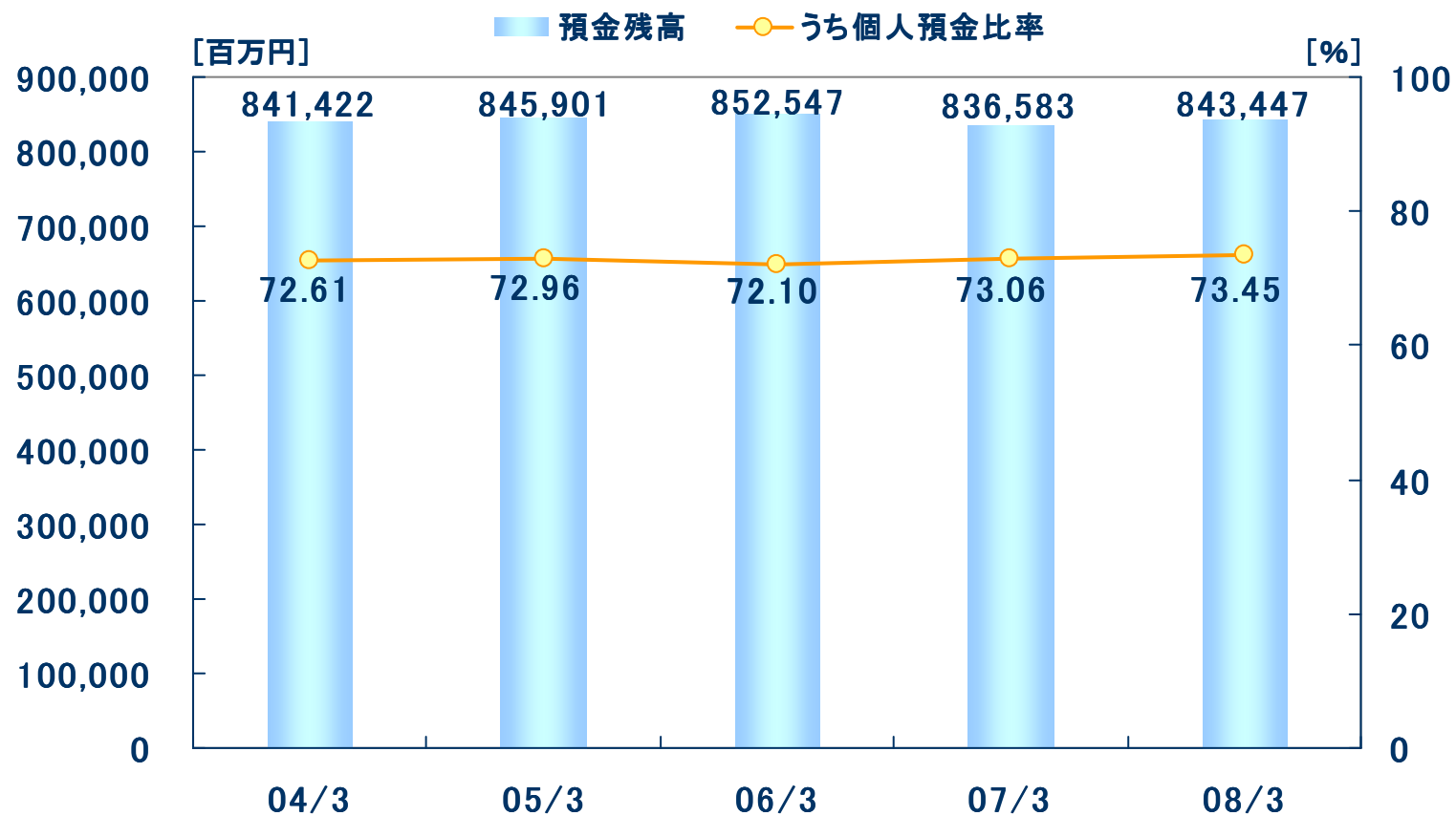
中小企業等に対する貸出金の割合
(2008年3月末)



2. 預金・預り資産

預金

地域に密着した営業活動を展開した結果、預金残高は前年同期末比68億円増加して8,434億円となりました。

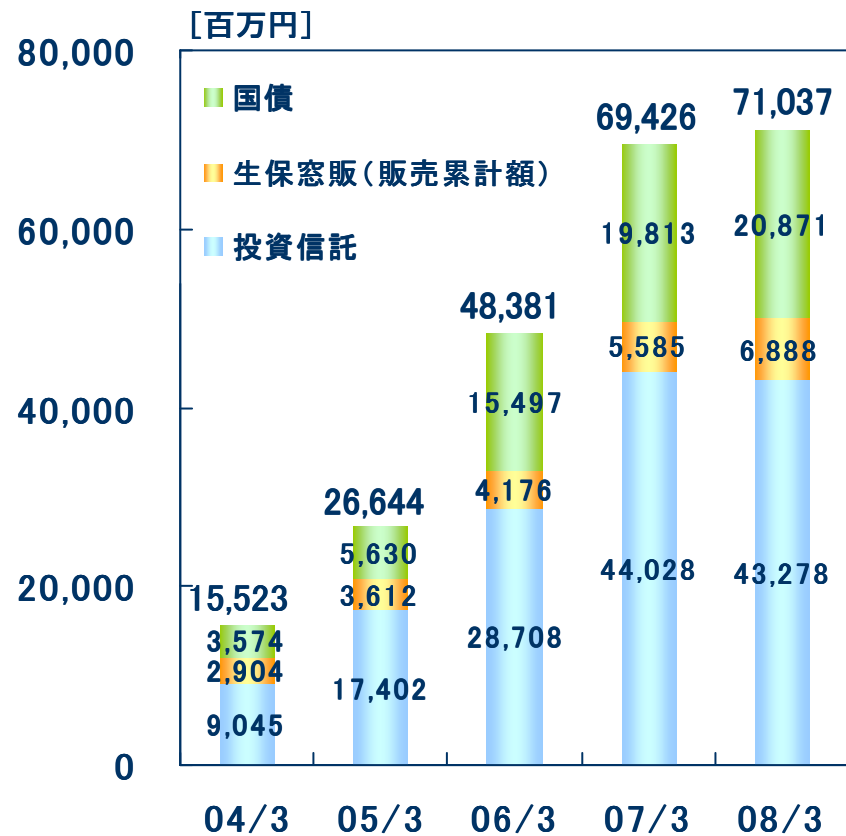
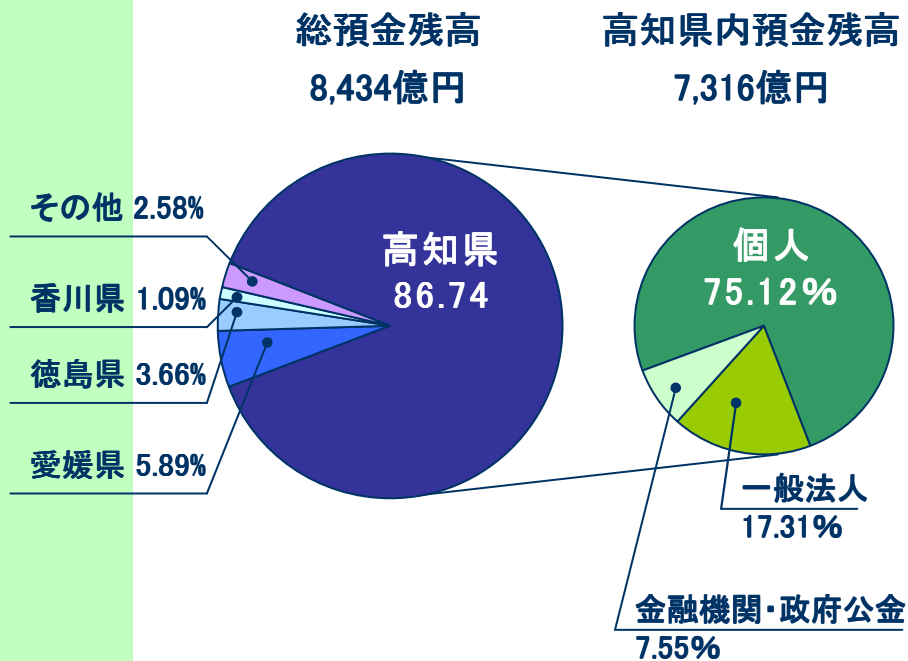


総預金残高に占める地元預金 (2008年3月末)

平成20年3月末の高知県内の預金は7,316億円で、当行全体の86.74%を占めております。

預り資産の推移

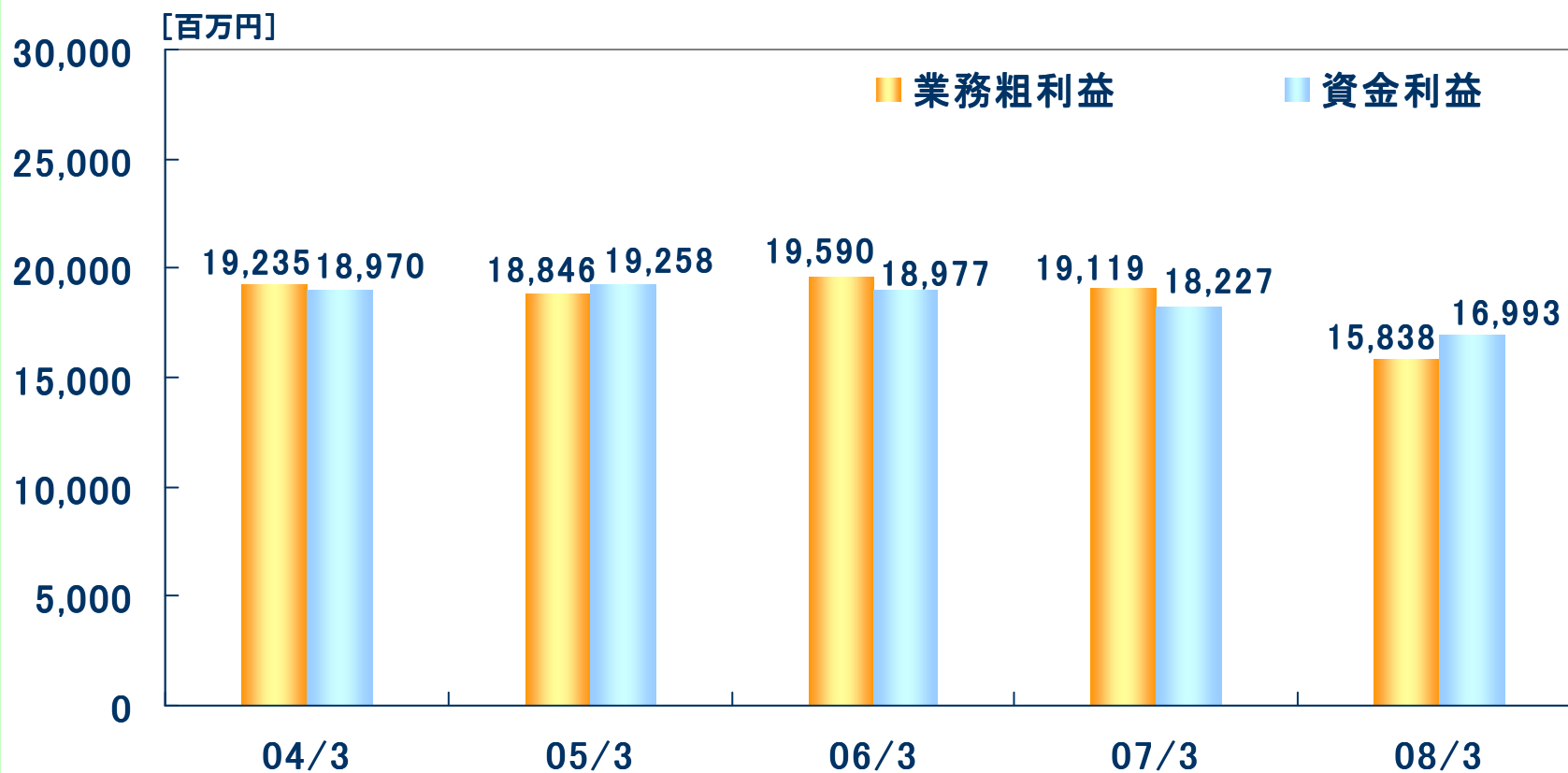
預り資産の合計は前年同期末比16億円増加して、710億円となりました。



3. 損益状況

① 業務粗利益

資金利益は169億93百万円、役務取引等利益は3億37百万円、その他業務利益は△14億92百万円で、業務粗利益は158億38百万円となりました。

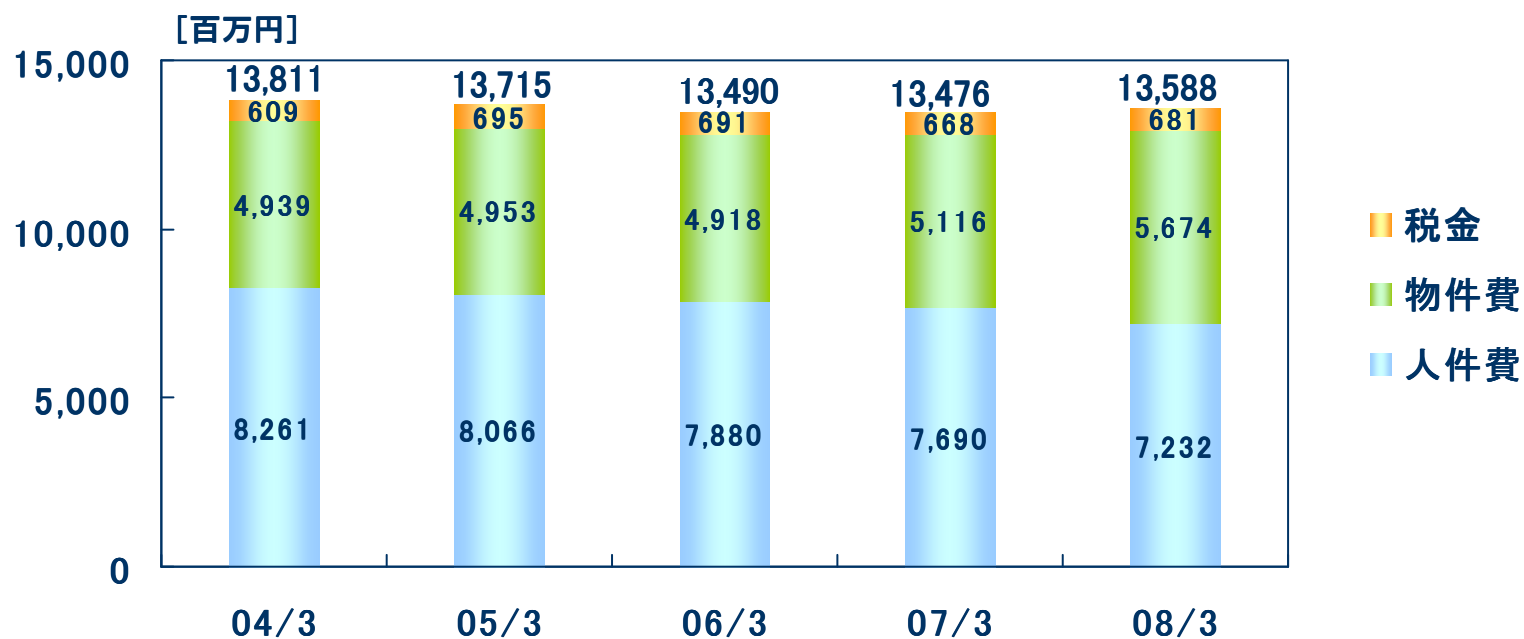


② 経費

平成20年3月期の経費合計は前期より1億2百万円増加し、135億88百万円となりました。

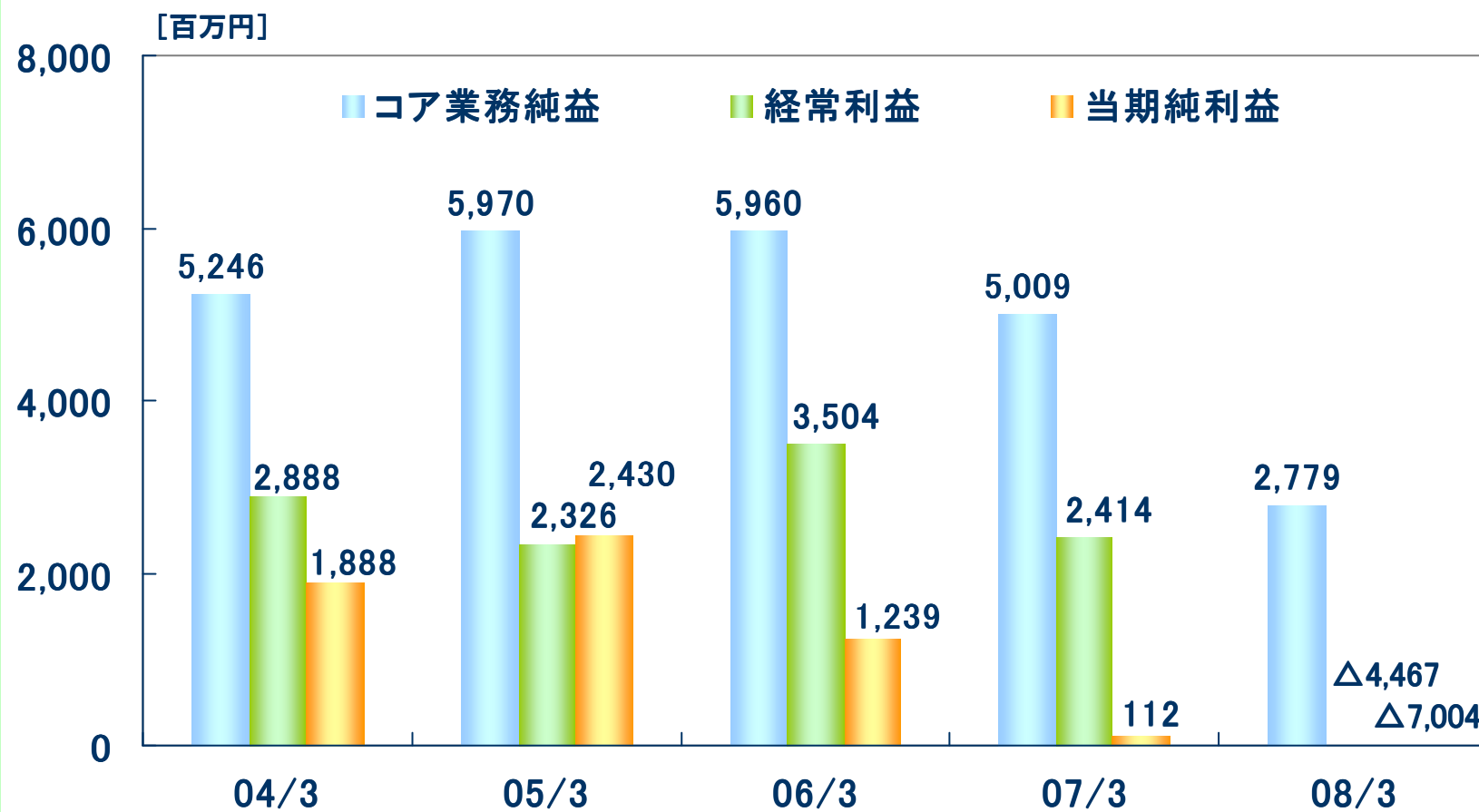
	人件費	物件費	税金	経費合計
04(平成16)年3月期	8,261	4,939	609	13,811
05(平成17)年3月期	8,066	4,953	695	13,715
06(平成18)年3月期	7,880	4,918	691	13,490
07(平成19)年3月期	7,690	5,116	668	13,476
08(平成20)年3月期	7,232	5,674	681	13,588

単位:百万円



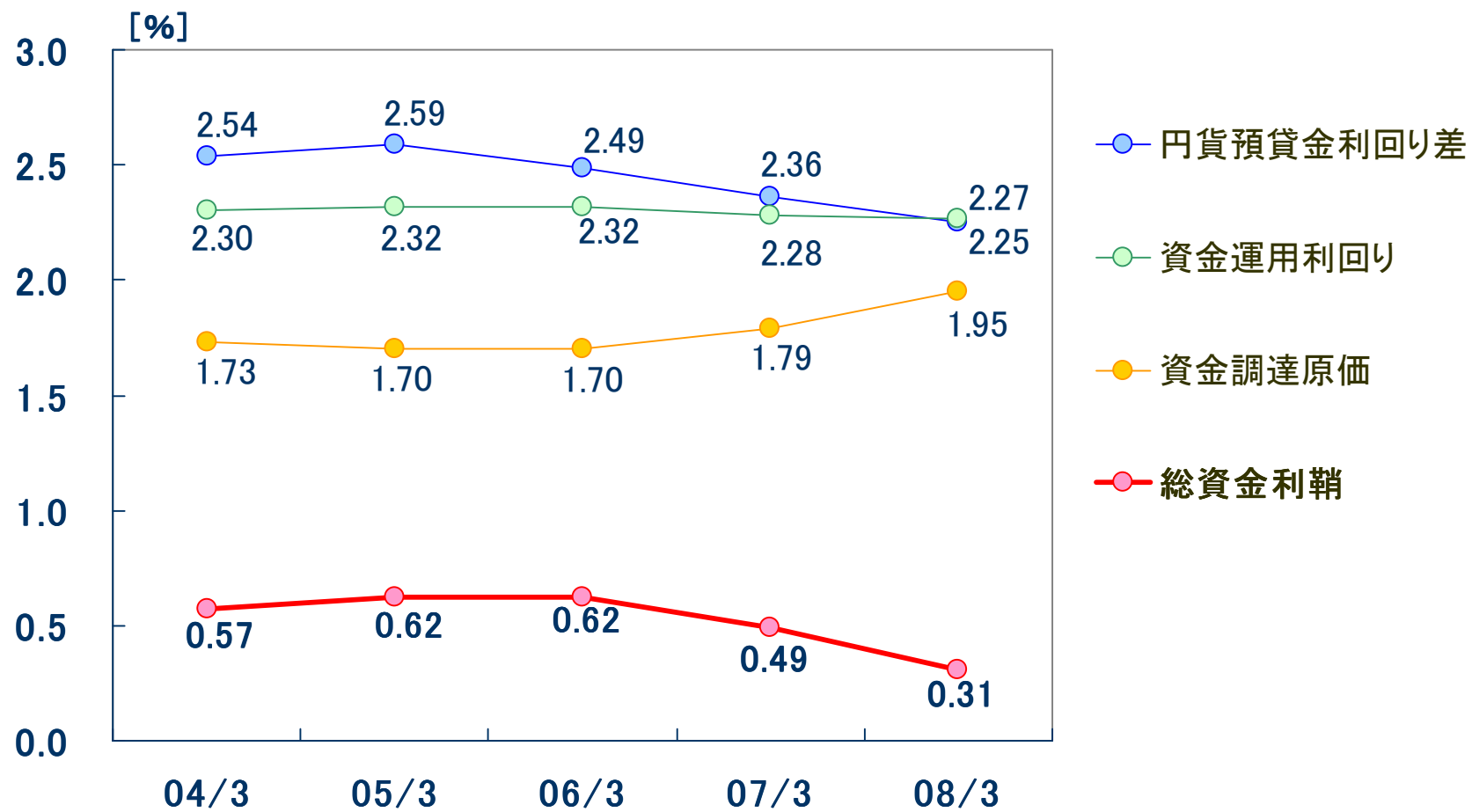
③ コア業務純益

銀行の本業での業績を表す指標といわれるコア業務純益は27億79百万円となりました。
経常損失は44億67百万円、当期純損失は70億4百万円となりました。



④ 利 鞘

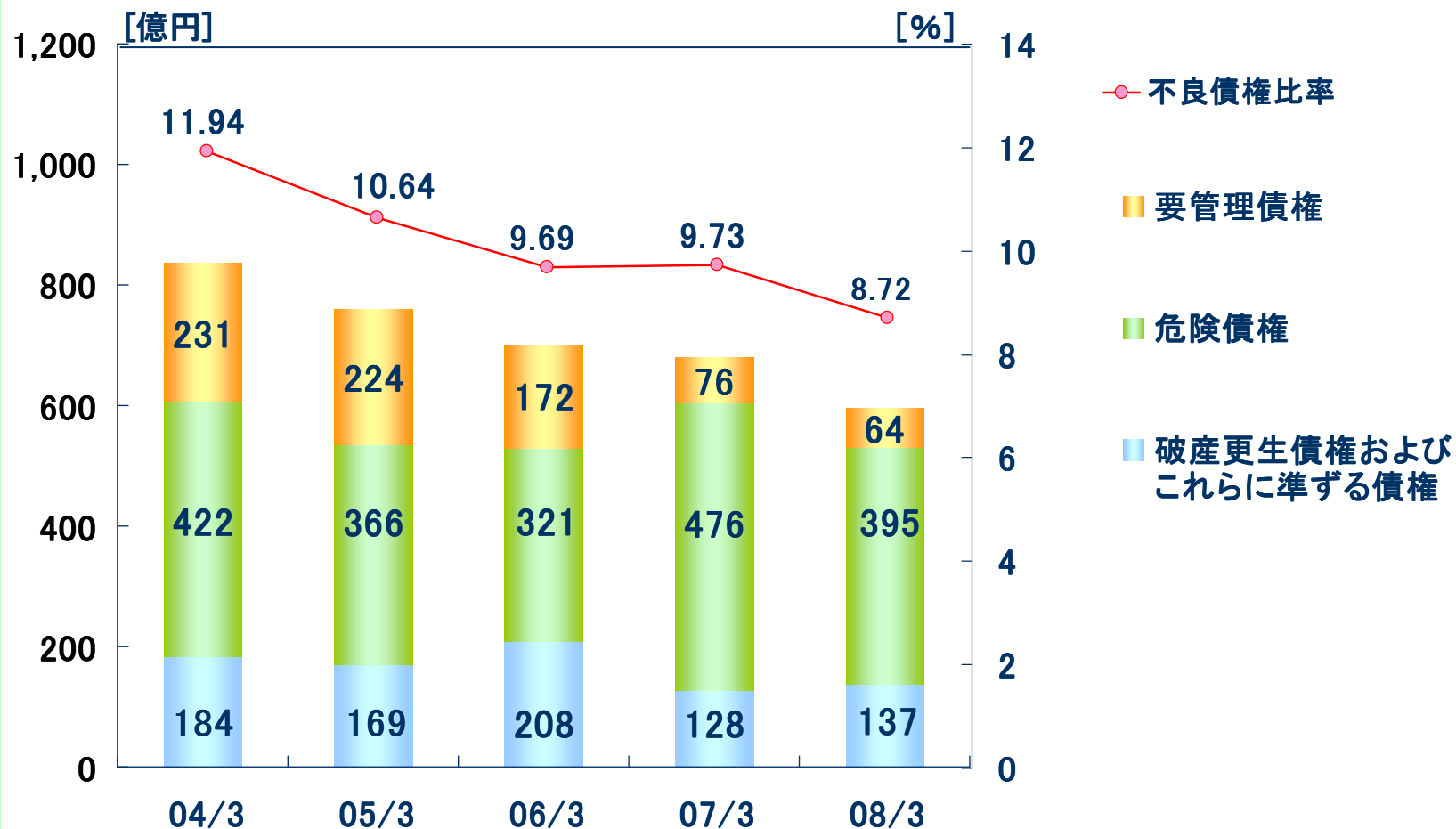
預金利回りが上昇し、円貨預貸金利回り差は2.251%となりました。



4. 不良債権への取組み

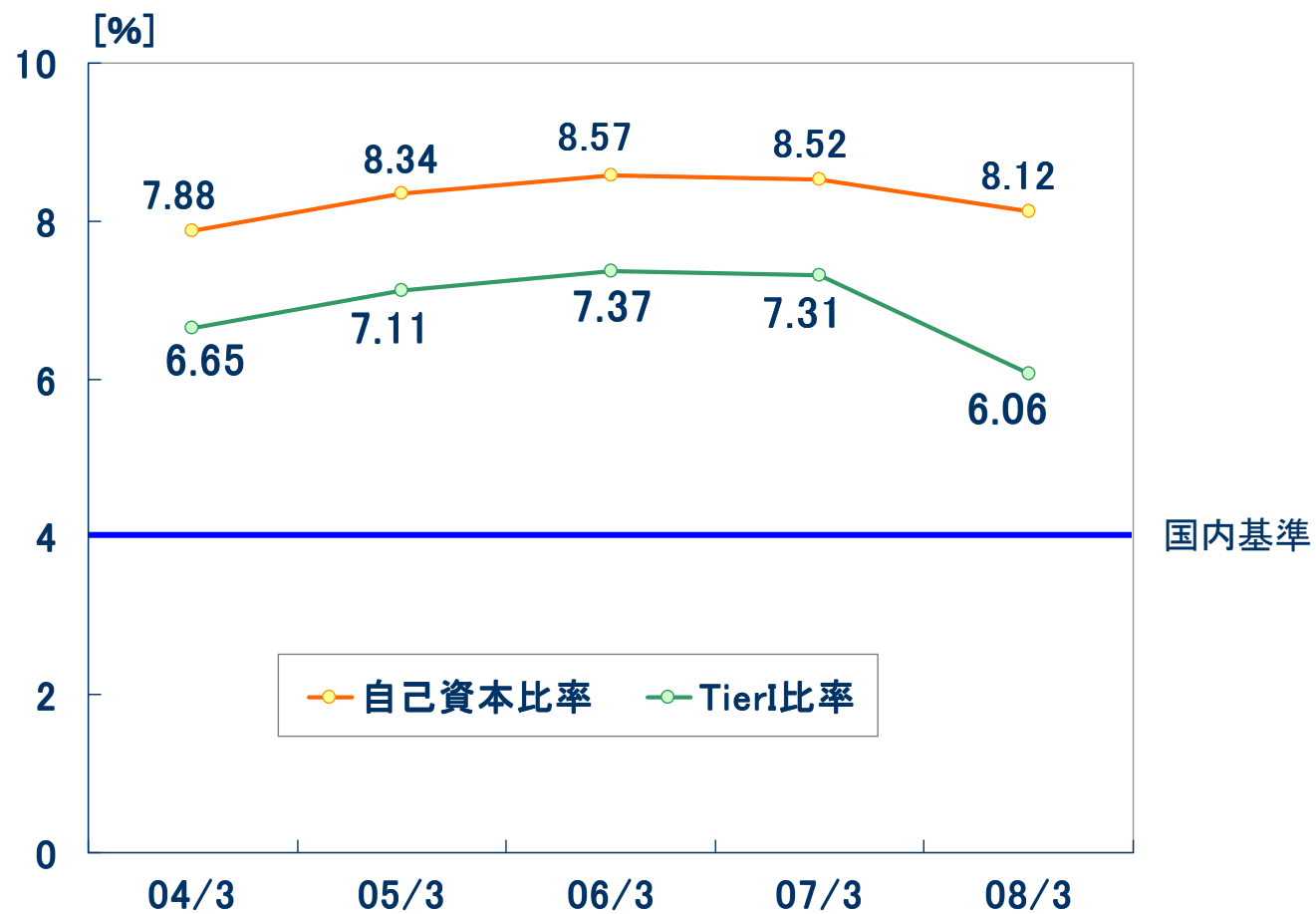
金融再生法開示基準に基づく債権

金融再生法開示基準に基づく不良債権の合計は597億70百万円で、不良債権比率は8.72%となりました。



5. 自己資本比率

自己資本比率は8.12%、資本金・剰余金など中核的な自己資本で算出した自己資本比率であるTier I 比率は6.06%となりました。



中期経営計画 第二次こうぎん維新

～未来へ向けた改革～ あしたを元気にビビッドバンク

計画期間：平成20年4月から平成23年3月まで(3年間)

金融業界を取り巻く環境の変化に迅速・的確に対応してさらなる成長を続けていくために、お客さまの視点で、意識・行動・業務それぞれの改革を推し進めていくことにより、目指す銀行像の実現を図ることを目的として、中期経営計画「第二次こうぎん維新」を策定いたしました。本計画に掲げた各施策を着実に実行してまいります。

■ 目指す銀行像(経営目標)

～「地元密着型リテールバンク」としてのバリューアップに向けて～

お客さまにとって……役に立ち信頼される銀行
株主にとって……格付け評価が高く信認の厚い銀行
地域社会にとって……使命を果たし発展に貢献する銀行
職員にとって……魅力的で夢と希望を実現できる銀行

当行が持続的に地域貢献していくことが、すなわち当行の持続的な発展につながる唯一無二の施策であるとの思いから「地域密着型リテールバンク」としてのバリューアップを目指し、「お客さま・株主さま・地域社会・職員」すべての皆さまにとって価値のある銀行であることを引き続き経営目標として取り組んでまいります。

■ 基本方針

- ・高収益構造への転換
経営の効率化と資産の健全化を進め高収益構造への転換を図ります。
- ・経営力の強化
リスク管理と内部統制態勢の高度化を進め経営力を強化します。
- ・地域貢献力の向上⇔地域密着型金融の推進
地域金融機関としての社会的責任を果たすため地域貢献力を高めます。

当行の経営課題である「収益力の強化」と「不良債権比率の改善」に取り組むために、「高収益構造への転換」「経営力の強化」「地域貢献力の向上」の3つの基本方針を定め、これらを実現して行くために「財務・顧客・業務プロセス・学習と成長」の4つの視点から重点戦略と重点施策を策定(Plan)して、各施策を着実に実行(Do)してまいるとともに、実行状況を検証(Check)し、改革(Action)を推し進めてまいります。

■ 主な施策

1) 財務の視点

① 中小企業・個人を中心に取引先の拡大とメイン化推進、基盤拡充

当行の主要な営業基盤である中小企業・個人事業主のお客さまに対して、フェイス・トゥ・フェイスの営業活動を一層徹底してリレーションを強化し、お客さまの課題に最適な解決策の提案や情報の提供を行い、事業のサポートをしてまいります。こうした取組みを通じて、高知県内および四国島内で3年間に1,500先程度のお客さまとの新たなお取引を目指すとともに、既存のお客さまのシェアアップをはかります。また、個人のお客さまや、法人のお客さまの従業員の皆さまとも密接なリレーションをはかり、住宅ローンや消費者ローンのほか、給与振込や公共料金の自動振替等、さまざまな商品・サービスを提供してまいります。

② 有価証券運用の強化

市場運用部門においては、証券化商品等に対するリスク管理を一層強化するとともに、さまざまなリスクを適切にコントロールして、最適な有価証券ポートフォリオのもとで、収益の拡大をめざします。

③ コスト削減に向けた取組み

人件費については、役員報酬等の削減や従業員の賞与の削減を実施していくことなどにより、引き続いて削減を図ってまいります。

また、あらゆる場面でコスト意識の徹底を図るため、物件費5%削減運動を継続して実施してまいります。

以上のような取組み等を推進していくことで、資金運用収益の拡大と経費の削減を実現してまいります。

2) 顧客の視点

① お客さまの事業サポート態勢の強化

お客さまの多様なニーズを分析して、商談会の開催等、ビジネスマッチングの取組みを強化して、事業をサポートしてまいります。また、事業承継やM&Aへの取組みについても注力してまいります。

② 商品開発専門セクションの設置

お客さまの多様なニーズに迅速・柔軟に対応して、お客さまの目線に立って預金から融資に至る全ての商品・サービスを開発する専門セクションを設置します。融資の商品については、お客さまの流動資産を有効に活用して事業資金のお手伝いを行うことができるABL(資産担保ローン)や、環境型ビジネスへ対応した商品等の開発を行います。

また、次期基幹システムへの移行後にはインターネット店舗等にも取組んでお客さまの利便性の向上を図ります。

③ 顧客満足度アンケート結果の施策への反映

顧客満足度アンケートで寄せられたお客さまからのご意見を分析して、さまざまな施策を実施して金融サービス業としてのバリューアップに取り組めます。

3) 業務プロセスの視点

① 全店フルバンキング体制の見直し

営業エリアの特質に応じて店舗形態の見直しを行い、預金特化型店舗や、連合店形式の導入により業務の効率化とお客さまの利便性向上を実現します。

② 次期システムの戦略的な活用

次期基幹系システムを戦略的に活用し、従来の業務プロセス全てを見直して、効率化を推進するとともに、商品開発力の向上を図ります。

4) 学習と成長の視点

① 営業店行員のスキルアップ

お客さま志向に立った接客により満足度を満たすことがサービス業の原点であり、そのためには行員一人ひとりが意識の改革を行い、能力の向上を図っていくことが必要であることから、コンサルティングやセールス力向上のための研修を重点的に実施します。

② 本部サポート体制の強化

営業店後方事務の本部集中化や、企業再生支援の専門家等、外部からの人材を登用して専門的知識の全行への展開を図る体制を構築してまいります。

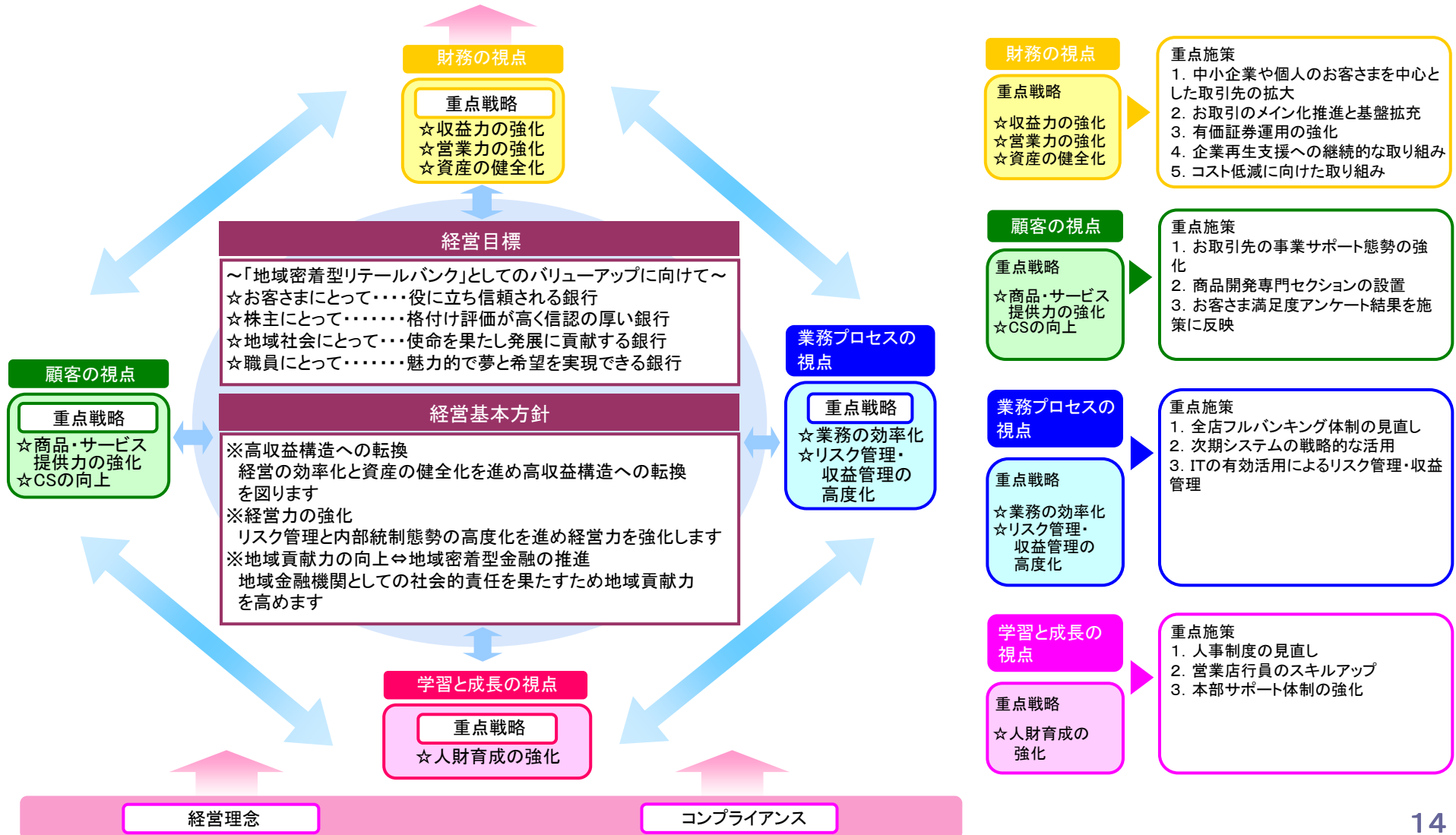
中期経営計画「第二次こうぎん維新」

～未来へ向けた改革～ あしたを元気に！ビビッドバンク

(計画期間 平成20年4月～平成23年3月)

数値目標(平成23年3月期)

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 1. コア業務純益 | 35億円以上 | 3. 自己資本比率 | 9.0%以上 |
| 2. 当期純利益 | 10億円以上 | 4. 不良債権比率 | 6.5%以下 |



お問い合わせ先

株式会社高知銀行 経営統括部

TEL:088-822-9311 FAX:088-871-7121

URL:<http://www.kochi-bank.co.jp/>

E-mail:kouhou@kochi-bank.co.jp

本資料には、当社グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。本資料は決算の概要や経営方針等についてのご案内を目的としており、取引の推奨あるいは勧誘を目的とするものではありません。